

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	中野市の小中学生及び保護者	教育環境の充実を図る。
現状・課題	少子化に伴い児童・生徒が減少している。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法
事務事業概要	教育委員会事務局の管理運営を行う。	
令和３年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	通学路防犯灯の維持整備	276灯
	市費による適正な学校職員の配置	11校

事務事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	38,297,000	38,641,000	6,253,000
		補正・流用等	円	-1,000	0	—
		合計	円	38,296,000	38,641,000	6,253,000
	決算（見込）額 A		円	34,762,763	38,641,000	—
	財源内訳	国庫支出金	円	205,000	318,000	
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	514,298	630,000	
	R2は予算額	一般財源	円	34,043,465	37,693,000	6,253,000
	正規職員数		人	0.82	0.97	0.97
	人件費 B		円	5,282,440	6,275,900	8,561,220
総事業費 A + B		円	40,045,203	44,916,900	14,814,220	
市民 1 人当たりコスト		円	941	1,060	352	

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	減らす	コスト	下げる	成果	維持する
	教育環境の充実を図る。						

